



2020年2月7日

各位

会社名: 富士石油株式会社
 代表者名: 取締役社長 柴生田 敦夫
 (コード番号: 5017 東証第一部)
 問合せ先: 総務部 IR・広報グループ 祖父江 高明
 TEL: (03) 5462-7803
 URL: <http://www.foc.co.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年11月7日に公表した2020年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2019年11月7日発表)	465,400	△400	△1,000	△300	△3.89
今回修正予想(B)	491,000	△1,200	△1,600	△1,000	△12.98
増減額(B-A)	25,600	△800	△600	△700	
増減率 (%)	5.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	541,640	4,876	3,599	2,896	37.59

2. 修正の理由

前回予想(2019年11月7日発表)以降の業績の動向等を勘案し、通期の業績予想を修正します。今回の修正見通しの前提として、第4四半期平均で、原油価格(ドバイ原油)は65ドル/バレル(前回予想同60ドル/バレル)、為替レートは110円/ドル(前回予想同105円/ドル)といたしました。

売上高は、前回予想比256億円増収の4,910億円となる見通しです。

損益につきましては、原油価格の想定の見直しに伴い在庫影響による原価押し上げ要因が縮小する一方、第3四半期において石油製品及び石油化学製品の市況が想定を下回ったこと等により、営業損失12億円(前回予想比8億円減益)、経常損失16億円(同6億円減益)、親会社株主に帰属する当期純損失10億円(同7億円減益)となる見通しです。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上